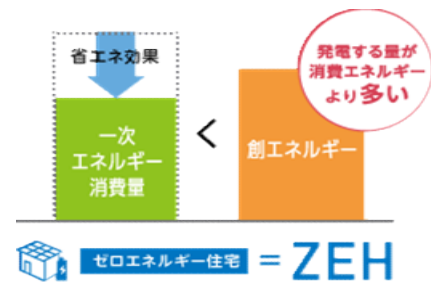


ZEHビルダーとは？

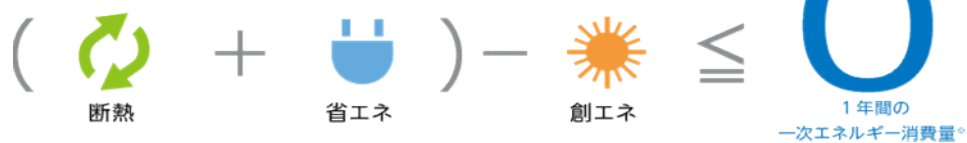
Net Zero Energy House = ZEH（ゼッチ）

ネット ゼロ エネルギー ハウス



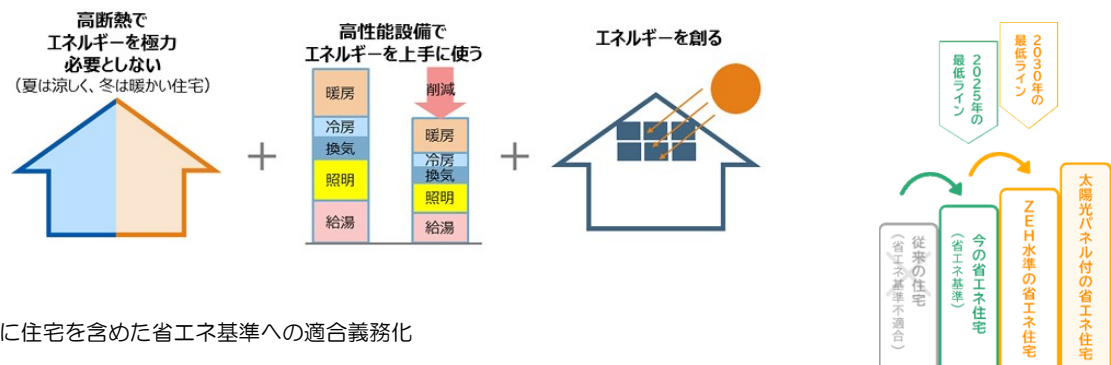
ZEH ゼッチ とは、Net Zero Energy House（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の略。住まいの断熱性・省エネ性能を上げること、そして太陽光発電などでエネルギーを創ることにより、年間の一次消費エネルギー量（空調・給湯・照明・換気）の収支をプラスマイナス「ゼロ」にする住宅を指します。

ZEH 達成に必要なポイントは 断熱・省エネ・創エネ の3つ



地球温暖化ガスの排出量削減が世界的な課題となっており、国内においても住宅の省エネルギー化は最重要課題のひとつとして位置付けられています。

そこで、これまでの省エネに加え「創エネルギー」を導入し、自宅で消費するエネルギー量より自宅で創るエネルギー量が多い＝ZEHゼッチ（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の暮らしに注目が集まっています



政府目標

2025年度に住宅を含めた省エネ基準への適合義務化

遅くとも2030年までに省エネ基準をZEH・ZEB基準の水準の省エネ性能に引き上げ・適合義務化

将来における設置義務化も選択肢の一つとしてあらゆる手段を検討し、太陽光発電設備の設置促進の取組を進める

注）「ZEH・ZEB基準の水準の省エネ性能」とは再生可能エネルギーを除いた省エネ性能

ゼッチ
ZEHには補助金が交付されます。

新しく家建てる多くの方が ZEH の仕様を導入しやすいように、国は補助金を出し、普及を促進しています。

これからのお住まいのスタンダードをおトクに叶えられるチャンスです。

ZEH補助金とは、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）を建てる際、省エネ性能のレベルや設備に応じて支給される制度です。

ZEH補助金は、環境共創イニシアチブが実施するZEH支援事業と、経済産業省、国土交通省、環境省が設定する補助金枠に分かれています。

ZEH支援事業では、ZEHの場合55万円、ZEH+の場合100万円の補助金が受けられるほか、

蓄電や直交集成板等の設備を導入すると追加補助金が受けられます。

補助金枠では、一次エネルギー消費性能や外皮性能、創エネ量などの要件を満たすと補助金が支給されます。



※ZEHビルダーマーク・ZEHプランナーマークについて（資源エネルギー庁HPより）

このZEH補助金支援事業におけるZEHビルダー登録制度が平成28年よりはじまりました。

この制度は、受注する住宅のうちZEHが占める割合を2020年までに50%以上とする事業目標（以下ZEH普及目標という）を掲げる

ハウスメーカー、工務店、リフォーム業者等を補助事業執行団体にて公募し「ZEHビルダー」として登録するものです。

更に、2021年度からは、2030年目標の達成に向けて、2020年度のZEHの供給実績に応じて、ZEH化率が50%を超えている場合は75%以上を、50%未満の場合は50%以上を2025年度の目標として宣言・公表した新たな「ZEHビルダー」制度の運用を開始しました。

橋本建設では、「令和4年度ZEHビルダー実績報告及び継続登録申請」を行い、以下の通り

2025年度に向けたZEH普及率目標を設定いたしましたので公表いたします。

ZEH普及実績とZEH普及目標

2020年度普及実績	新築戸建住宅	0%	既存改修	0%
2021年度普及実績	新築戸建住宅	0%	既存改修	0%
2022年度普及実績	新築戸建住宅	0%	既存改修	0%
2023年度普及実績	新築戸建住宅	0%	既存改修	0%
2024年度普及実績	新築戸建住宅	0%	既存改修	0%
2025年度普及目標	新築戸建住宅	80%	既存改修	80%

（株）橋本建設の具体的なZEH普及策

ZEHの周知・普及に向けた具体策

社内の勉強会、その他講習会を通してスタッフのZEHへの理解を深めます。
現在計画のお客様に対し、自社ホームページやSNSまたはパンフレットやチラシ等を活用し、ZEHとは何か又その必要性、メリットなど積極的に提示し、PRしていきます。
また現場見学会などイベントでのパネル等による資料展示・説明を行い、今後も継続して周知し普及できる環境づくりをしています。

ZEHのコストダウンにむけた具体策

省エネ工事の質を落とさないよう高性能で低価格の資材を選定し、プランニングの段階で開口部の大きさや位置を考慮し、省エネに効率的でかつシンプルな設計を心掛けます。
再度建物の仕様を見直し、材料のムダや過剰な設備機器の設置を抑え、また現場の施工性を考慮した納まりの統一で、工期短縮を図りながら、更なるコストダウンを図ります。
取引業者様にZEHへの取り組みを理解していただき、材料費・施工費の削減のため、相互に知恵を出し合い、ご協力いただけるよう取り組みます。

その他の取り組みについて

引き続き、風や採光といった自然エネルギーを出来るだけ取り込めるよう間取りを工夫したり、またヒートショックの低減など、高齢者に配慮した住まいづくりを考え、長く快適で健康に住める住宅を提供していきます。
また既築の改修工事に関しても、できる限り省エネ性能が向上するプランを提示していきます。
これから開発される工法や、省エネ新商品の情報を常に確認し、積極的に取り入れて、自社物件の改良に努めます。